



(20ページから続く)  
思いました」

熊本県山鹿市の薬局薬剤師として地域のために働いている。学校で『薬剤師になりたい人、手を挙げて下さい』って聞くと手を挙げる生徒さんたちが多い」という。

また熊本県荒尾市で医師や看護師、介護士、ソーシャルワーカーの人たちが集い交流を深める「ケア・カフェ」のマスターを務める。「多職種連携は目的ではなく手段。目的は地域に住む患者さんの健康管理やQOL向上を実現させ笑顔になってもらうこと」。心がけていることは、多くの人たちがケア・カフェに参加してもらえるよう、参加への敷居を最大限下げることだ。

「多職種連携をやるうとすると、アウトカムを求めだして敷居が高くなってしまい、最終的には顔見知りのメンバーだけになってしまふ」と大森さん。地域医療に誰でも参加できる環境が今、求められている。そして薬剤師という仕事。「薬剤

## 患者さんを笑顔にさせる

として、患者のために何ができるかを考えるようになった。

昨年4月に熊本地震を経験した。避難生活の中でなかなか助けてが言えない人の「助けて」。それを聞いた人が多職種連携のバトンを渡す重要性を痛感した。「ニーズを拾い上げた人が最後まで責任を持ってやることも大事だが、そのニーズを解決するのに適した職種にバトンを渡していくことが被災者のためには大切になる」。普段から「顔が見える関係」でありたいと強く思った。

師というのは右手に持っている武器の1つにしか過ぎないと思っています。確かに薬剤師としてのスキルが高ければ高いほど患者さんを助けることができるのは事実。しかし、薬剤師として対応困難な依頼に対して「私は薬剤師なのでこの仕事はできません」では、医療・介護の世界で通用しないことを嫌というほど見てきた。「薬剤師としてではなく「人

薬剤師を続けてきて一番うれしい言葉がある。それは、「あんたのおかげで助かったよ」。精神的にいい状態の患者の話に耳を傾けたときには、「私の話をこれだけ聞いてくれたのはあんたが初めてや」と感謝されたこと、「肩が上がらない。もうこれから生きていけんよ」と訴えていた患者が、しばらく経って「大森さん、ありがとう。肩が上がるようになったよ」と報告してくれたこと、薬局で小児処方方を長時間待たせてしまった親御さんに「申し訳ありません、私のこだわりもあつてお待たせしています。薬剤師と子を持つ親の気持ちの両方の立場で処方医と話をさせていただいております」と謝ると、「こつちがありがとうよ。次もこの薬局で薬をもらうから」という言葉をかけてもらったこと、そんな患者との触れ合いをありがたく思う毎日。だからつらいことも乗り越えられる。

専門的な処方内容を変更したり、薬剤師として高度なスキル

も経験もない三流薬剤師です。自分1人だけの活動だったら本当に口先だけの薬剤師になっていた。でも友達や周りの人たちと交流して勉強する中でやらなければならぬことやみんなの患者さんへの熱い思いに気づける。皆さんも目の前にいる患者さんや仲間を大事にしながらも、視野を広げてぜひいろんな人たちと交流してほしい。そして最後に一言。「受け身ではなく、率先して動く」そんな薬剤師になってほしいですね」と最高の笑顔でそう付け加えた。

## 考える！キャリアデザイン 薬剤師はどこで働いているのか



キャリア・  
ポジション社長  
西鶴 智香

薬学生の皆さんは、卒後どういった分野で働こうと思っていますか？在籍している大学の先輩方はどういった分野の職種に就いたのでしょうか。先輩がそうだからといってその進路に、ということではありませんが、参考までに一度、調べてみるといいでしょう。

それでは全国に薬剤師はどのくらいいて、どこで働いているのでしょうか。厚生労働省の調査によると、2014年末時点で薬剤師は全国におよそ28万8000人います。男女比は4対6で女性が多め。就業場所のうち「薬局」が一番多く55.9%が従事しています。次が「病院・診療所」で19%。「医薬品関係企業の研究・

開発・営業」は10.7%、「医薬品販売業」は4.5%、「衛生行政機関」は2.3%、「大学」は1.8%、無職を含めた「その他」は5%強という状況です。

余談ですが、人口あたりで比較すると実は、日本の薬剤師数は世界一多いのです。こんなに「薬剤師が足りない」と言われている状況なのに、世界一多いとは驚かれることでしょうか。それは日本と海外で薬剤師の仕事内容に大きな違いがあるからです。

日本では法律によって薬剤師が「調剤業務」を行うことになっていますが、諸外国では薬剤師ではなく

「調剤技術者」という別の資格者が担当することが少なくありません。例えば薬局では薬剤師は調剤以外の処方鑑査や服薬指導を担当するため、1薬局あたりの薬剤師数は日本よりも少なくて済みます。日本でも調剤技術者導入の議論はありますが、まだ導入の予定はありません。

話は戻って先輩方の現状はこうですが、皆さんはどこに進みますか？友達や先生がどの業種を勧めるかはあくまでも参考程度に。自分が何に興味を持てるのかは、実際に働く薬剤師を見聞きしないと分かりません。話を聞いて、自分もいつかそうなりたいと思えるかどうか、です。動きながら考えましょう。

添付文書を網羅。さらに専門家の解説を加えた治療薬年鑑

# 治療薬マニュアル2017

監修 高久史磨  
日本医学会・会長  
矢崎義雄  
国際医療福祉大学・総長

編集 北原光夫  
農林中央金庫健康管理室・室長  
上野文昭  
大船中央病院・特別顧問  
越前宏俊  
明治薬科大学教授・薬物治療学

新薬・最新薬価情報は  
特設サイトで随時提供！  
chimani.jp

ハンディサイズ本では唯一「使用上の注意」をすべて収録

- 収録薬剤数は約2,300成分・18,000品目。2016年に記載された新薬を含むほぼすべての医薬品情報を収録。
- 添付文書に記載された情報を分かりやすく整理し、各領域の専門医による臨床解説を追加。
- 医薬品リファレンスブックとして、医師・薬剤師・看護師ほかすべての医療職必携の1冊。

●B6 頁2752 2017年 定価：本体5,000円＋税 [ISBN978-4-260-02818-9]

医学書院 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [販売部] TEL 03-3817-5650 FAX 03-3815-7804 E-mail sd@igaku-shoin.co.jp http://www.igaku-shoin.co.jp 振替 00170-9-96693



本書購入特典  
電子版付



実務実習に最適！